

## 第5回 広域系統整備委員会コスト等検証小委員会 議事要旨

日時 平成29年11月22日(水) 14:00～16:15

場所 電力広域的運営推進機関 豊洲事務所B、C会議室

### 出席者

#### <委員>

加藤 政一 委員長(東京電機大学 工学部電気電子工学科 教授)  
田中 誠 委員(政策研究大学院大学 教授)  
新里 智弘 委員(公認会計士)  
洞口 明史 委員(東海旅客鉄道(株) 建設工事部 担当部長)  
竹島 尚弘 委員(関西電力(株) 電力流通事業本部 工務部長)  
松本 泰崇 委員(九州電力(株) 送配電カンパニー 電力輸送本部 部長)

#### <オブザーバー>

植田 健司 オブザーバー((株)ニュージェック 送配電グループ GM)

#### [議題1, 2]

管野 秀幸 オブザーバー(東北電力(株) 資材部 副部長)  
小野 秀児 オブザーバー(東北電力(株) 送変電建設センター 所長)

#### [議題3]

望月 良成 オブザーバー(中部電力(株) 工務技術センター 直流G主幹)  
小林 達生 オブザーバー(中部電力(株) 工務技術センター 直流G 副長)  
岩見 章示 オブザーバー(中部電力(株) 資材部 購買契約G長)  
岡部 孝継 オブザーバー(電源開発(株) 流通システム部 部長 )  
福永 栄治 オブザーバー(関西電力(株) 電力システム技術センター 担当課長)

(以上 敬称略)

### 配布資料

- (資料1) 東北東京間連系線に係る広域整備計画工事概要(東北電力)
- (資料2) 東北東京間連系線に係る広域整備計画の「調達に関する基本的な考え方」の検証
- (資料3) 東北東京間連系線設備に関する資材調達の基本的な考え方について(東北電力)
- (資料4) 東北東京間連系線に係る広域系統設備に係る「当該整備計画における調達に関する基本的な考え方」(ニュージェック)
- (資料5) 東京中部間連系設備に係る広域整備計画における「東清水FC増設工事」の検証

- (資料6) 東清水 FC 増設工事におけるコストダウンに向けた取り組みと自励式 FC の発注単位について (中部電力)
- (資料7) 東清水 FC 変換器発注における総合評価について (中部電力)
- (資料8) 「東京中部間連系設備に係る広域系統整備計画」のうち東清水 FC 増設工事について (中部電力)
- (資料9) 東京中部間連系設備に係る広域系統設備における「東清水 FC 増設工事」検証 (その2) (ニュージェック)

### 議題1．東北東京間連系線に係る広域系統整備計画の工事概要について（報告）

- ・オブザーバーの東北電力から資料1により、東北東京間連系線に係る広域系統整備計画の工事概要について報告があった。

（主な意見、質疑）

送電線工事における環境アセスの有無及び工期に与える影響について質問があり、環境アセスが必要なルートも今後の調査ではあり得るが、極力工期に影響を与えないように対応したいとの説明があった。

### 議題2．東北東京間連系線に係る広域系統整備計画の「調達に関する基本的な考え方」の検証

- ・事務局から資料2により東北東京間連系線に係る広域系統整備計画の調達に関する基本的な考え方の検証方法などについて説明し、オブザーバーの東北電力から資料3により、東北東京間連系線設備に関する資材調達の基本的な考え方について説明があった。その後、オブザーバーのニュージェックから資料4により調達に関する基本的な考え方の検証結果について説明があった。それらを踏まえ、事務局から資料2により、基本的な考え方の検証結果のまとめ及び今後に向けて説明があった。

（主な意見、質疑）

- ・発注方式について具体的な効果や既設設備との関連を考慮した発注方法、本整備計画以外の工事との重複による発注方式の考え方への影響などについて質問があり、オブザーバーより現時点での考え方について回答があった。今後、個別の発注方法の具体的な検討に向けて整理を進めることとなった。

東北東京間連系線の調達に関する基本的な考え方については、概ね委員の了解が得られたため、今回の検証結果を踏まえ、今後の広域系統整備計画を進めていくこととなった。

### 議題3. 東京中部間連系設備に係る広域系統整備計画の「東清水 FC 増設工事」の検証

- ・事務局から資料5により東京中部間連系設備に係る広域整備計画における東清水 FC 増設工事の検証について主に第4回から追記となっている点の説明があった。オブザーバーの中部電力から資料6、7、8により、東清水 FC 増設工事に関する発注方法について、自励式変換装置の特徴や東清水の特性も踏まえ最適な評価方法となっているかなどの説明があった。オブザーバーのニュージェックから資料9により、事務局から資料5により東清水 FC 増設工事に関する発注方法の検証結果について説明があった。

(主な意見、質疑)

- ・評価の方法や、自励式変換装置の特徴や東清水の特性、それらの発注方式や発注単位への影響などについて、具体的に質疑が行われた。発注方式、発注単位については東清水 FC の制約事項を踏まえ、多面的・多角的に評価しており、総合評価としては概ね了解が得られた。
- ・総合評価方法については、公平性・透明性を確保した発注方式となるよう応札希望者へ事前に評価方法等を提示する必要があると意見があった。
- ・発注段階での検証における工事費・工期については、今回の提案型発注方式では現時点では実施案と同じだが、今後の調達プロセスの中でコスト低減などに取り組むよう意見があった。

東清水 FC 増設工事に関する発注方式については、概ね委員の了解が得られたため、事業実施主体は検証結果を踏まえ発注手続きを開始し、コスト低減及び工事の円滑、着実な実施に向け取り組むこととなった。

以上